

第27回 企業交流会 YKK(株)黒部事業所のご案内

【戦略的技術者を指すために】

第27回企業交流会をYKK(株)黒部事業所において開催いたします。

参加を希望される方は必要事項記入の上、FAXにて事務局までお申し込みください。後日参加券をお送りします。当日受付に御提出ください。非会員の方の参加は事務局にお問い合わせください。

訪問先企業	YKK(株) 黒部事業所 富山県黒部市吉田200 北陸新幹線黒部宇奈月温泉駅よりバス、集合時間 10:30 在来線の黒部駅から車で15分
日 時	2016年2月26日(金) 11:00～17:30
プログラム	11:00 YKKセンターパーク(展示館)見学 12:00 昼食 13:00 開会挨拶 (YKK(株), 品質工学会) 13:10 講演「YKKにおける 求められる技術人材」 (YKK(株) 取締役副社長 大谷 渡) 14:10 壇上発表 (1)「YKKの品質工学の取組み」 (YKK(株)執行役員 工機技術本部 基盤技術開発部長 喜多 和彦) (2)「YKK工機技術本部の専用設備開発における品質工学の取組み」 (YKK(株)工機技術本部 製造技術開発部 APグループ シニアエンジニア 山崎 公之) (3)「コマツグループでの品質工学営業活動」 ((株)小松製作所 コマツウェイ総合研修センタ 教育企画部 主幹 細井 光夫) (4)「バーチャル設計による電子部品組立工程の最適化」 (アルプス電気(株) 品質担当 品質保証統括部 信頼性評価室 上杉 一夫) 15:45 パネルディスカッション 「戦略的技術者を指すために」 司会：(株)松浦機械製作所 常務取締役 天谷 浩一 パネリスト： 講演者、壇上発表者 17:30 閉会挨拶 18:00～19:30 懇親会
定 員	50名(非会員の場合は、事務局にお問い合わせください。)
締 切 日	2016年2月19日(金)ただし定員になり次第締め切ります。
参 加 費	会員9000円(懇親会は別途料金) 請求書送付・事前振込をお願いします。
申 込 先	品質工学会事務局 FAX. 03-6268-9350 TEL. 03-6268-9355

FAX.03-6268-9350 品質工学会事務局 行 <第27回企業交流会 申込書>

フリガナ 氏 名	勤務先
会員番号	所 属
参加券送付先 (非会員の方は住所をご記入ください。会員の方は学会誌送付先に送付します。)	
<input type="text"/> <input type="text"/> <input type="text"/> - <input type="text"/> <input type="text"/> <input type="text"/> (郵便番号は必ずお書き下さい)	
TEL. _____ FAX. _____	
懇親会 (いずれかを○で囲ってください) 参加する ・ しない	

第27回企業交流会の概要

【戦略的技術者を目指すために】

世界経済のグローバル化の進展により、日本企業は新興国企業との熾烈なコスト競争に直面している。このコスト競争に勝ち抜くために、効率やスピード重視のものづくりが採られている。そのため、コンピュータ化やマニュアル化が進んだ結果、考えない技術者が増え、かえって競争力が低下しているのではないかということが指摘されている。このような状況の中で日本企業の競争力をアップさせるためには、技術者の意識改革という所から始めなければならない。企業では教育とか人材育成を重視しているとしているが、単なる知識の提供ということが中心になっていないだろうか。ここでは、本来の構想力、思考力を高めることが必要になると考えられる。2007年の第15回品質工学研究発表大会における特別講演（矢野宏）で、「自分の得た知能を武器として立ち向かうのに品質工学を活用する技術者」を「戦略的技術者」として位置づけられた。戦略的技術者として本来の構想力、思考力を発揮している技術者こそマクロ視点を持つ技術者ととらえ、技術者自身がこのマクロ視点を持つ技術者と呼ばれるレベルまでレベルアップしていくか、あるいはいかに育成していくかということが極めて重要なことである。そこで、現在積極的な技術開発活動を行っている技術者や品質工学の推進部門として人材育成を行っている技術者に、自分自身が関わった技術開発の事例を通して、その推進の原動力となった考え方、背景、姿勢、思考方法などから、品質工学を戦略として、品質工学の本質をどのように理解して技術開発に取り組んで成果に結びつけているか、あるいはマクロ視点を持つ技術者を育成しているかについて報告してもらい、パネル討論につなげ、戦略的技術者を目指していくための課題について討論を行う。

以下に事例発表の概要を紹介する。

事例発表の概要

「YKKの品質工学の取組み」

YKK(株) 執行役員 工機技術本部 基盤技術開発部長 喜多 和彦

YKKでは2011年から矢野宏先生の指導により工機技術本部から品質工学の取組みが始まった。2014年迄の4年間で59テーマを取り上げファスニングやAP事業での取組みへも広がりを見せている。発表では具体的なテーマを事例としてYKKでの品質工学への取組みを紹介する。

「YKK 工機技術本部の専用設備開発における品質工学の取組み」

YKK(株) 工機技術本部 製造技術開発部 APグループ シニアエンジニア 山崎 公之

工機技術本部では、材料開発、設備開発、機械製造により、ファスニング・AP事業向けの専用機械を国内外のYKKグループ各工場に供給している。専用機械を供給するための要素技術強化の施策として品質工学に取り組んでおりAP事業向け設備への品質工学の適用事例を紹介する。

「コマツグループでの品質工学営業活動」

(株)小松製作所 コマツウェイ総合研修センタ 教育企画部 主幹 細井 光夫

2006年の矢野宏指導会から始まったコマツでの品質工学普及推進活動はいまだ発展途上であるが、具体的な適用事例の成功や失敗経験を生かしたコマツグループ内での品質工学営業活動と教育内容について紹介する。

「バーチャル設計による電子部品組立工程の最適化」

アルプス電気(株) 品質担当 品質保証統括部 信頼性評価室 上杉 一夫

電子部品組立に用いるジグの最適化や、組立ラインレイアウトの最適化において、バーチャル設計は有効かつ汎用的な方法である。それらの事例を紹介するとともに、目指すべきもの-工程全体の最適化についても議論したい。